

宮城県感染症発生動向調査情報(第35週)

宮城県【平成25年09月05日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.8.26 ~ 9.1 ・ 第35週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第32週	第33週	第34週	第35週
水痘	2 0.40	2 0.20	1 0.20		4 1.33	2 0.40	1 0.50	8 0.31	2 0.34	2,530	○→	○→	○→	レ
流行性耳下腺炎					1 0.33	1 0.20	2 1.00	5 0.19	9 0.16	816	レ→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	24 4.80	19 1.90	9 1.80	11 5.50	12 4.00	4 0.80		47 1.81	126 2.17	12,137	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	23 4.60	39 3.90	38 7.60	10 5.00	27 9.00	31 6.20	9 4.50	144 5.54	321 5.53	2,363	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑		2 0.20					2 1.00	9 0.35	13 0.22	454	→	→	→	
突発性発しん	2 0.40	13 1.30	5 1.00		2 0.67	9 1.80	1 0.50	24 0.92	56 0.97	1,296	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	24 4.80	29 2.90	6 1.20	3 1.50	5 1.67	31 6.20	1 0.50	52 2.00	151 2.60	1,626	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱				1 0.50				9 0.35	10 0.17	652	○→	レ→	→	
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	111	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	10 1.00	1 0.20		2 0.67	4 0.80		11 0.42	34 0.59	3,628	◎→	○→	○→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			3 3.00	3 0.60	8 0.67	673	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		6 0.60	4 0.80		1 0.33	3 0.60		22 0.85	36 0.62	490	○→	レ→	レ→	○
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2			1	5	5		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							9						

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第33週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.81)、岐阜県(0.06)、長野県(0.04)である。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,281例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(2.31)、宮崎県(2.17)、佐賀県(1.65)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.32)、茨城県(1.11)、鳥取県(1.00)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.44)、島根県(5.96)、徳島県(5.35)である。**水痘**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(1.08)、福島県(1.04)、秋田県(0.91)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は新潟県(14.28)、福島県(10.04)、長野県(9.06)である。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(0.72)、宮城県(0.17)、新潟県(0.15)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は佐賀県(0.04)、大阪府(0.03)、福岡県(0.03)、沖縄県(0.03)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(5.61)、高知県(5.13)、山形県(4.68)である。**流行性耳下腺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.86)、福島県(0.64)、高知県(0.63)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福島県(2.71)、富山県(1.80)、宮城県(1.75)である。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核 *男児、女児は6歳未満

栗原管内 女性1名
登米管内 男性2名
石巻管内 女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性3名、女性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙南管内 男性1名
気仙沼管内 女性1名、*男児1名
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
大崎管内 女性1名
仙台管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O111)
仙台管内 *男児1名
4類感染症: レジオネラ症
仙台管内 男性2名
5類感染症: アメーバ赤痢
仙台管内 男性2名
クロイツフェルト・ヤコブ病
仙台管内 男性1名

今週の感染症のコメント

宮城県感染症対策委員会情報解析部会一

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、気仙沼、仙台管内で警報継続中。
石巻管内で警報値を超えた。

[伝染性紅斑]

気仙沼管内で警報継続中。

[ヘルパンギーナ]

石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

手足口病患者より

仙南管内	第31週採取分	コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子	2件
	第31週採取分	エンテロウイルス(型不明) 遺伝子	1件
大崎管内	第32週採取分	コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子	3件
	第33週採取分	コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子	2件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内	第30週採取分	ヒトパレコウイルス(1型) 遺伝子	1件
------	---------	-------------------	----

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第33週採取分	第34週採取分	第35週採取分
RSウイルス	(8.12~8.18) 3件	(8.19~8.25) 4件	(8.26~9.1) 3件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件

[手足口病]

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行する。全国的に患者報告数が増加しており、県内でも今週石巻管内で警報値を超え、県内全ての保健所管内で患者報告数が警報値を超えた。また保健環境センターの検査でも手足口病患者からコクサッキーウイルス、エンテロウイルスが検出されていることから注意を要する。